

野生動物の餌付けは動物愛護か

最近、イヌやネコなどの飼育動物の適正飼育の考え方が飼い主に広がり、終生飼育が浸透してきたことは、北九州市獣医師会の会長として私は大変喜ばしいことと考えています。

野生動物は飼育動物とは違います。本来、野生動物とは人との関わりなく生きている動物のことを意味しています。そこに人が積極的に関り、野生動物の自然の中で生きていく自由を奪ってもよいのでしょうか。

人から餌をもらうことを覚えた野生動物は、本能である自ら餌を探すことを忘れ、最後には人に危害を加える恐れがあり、有害鳥獣ということで、捕獲・処分となることとなります。果たしてこれでよいのでしょうか。

私は、動物の命を守ることが使命である獣医師として、野生動物は観察する、見て楽しむ程度が人と野生動物の関わり方の基本だと考えます。

平成27年12月24日

公益社団法人 北九州市獣医師会
会長 西間 久高